

## HoLEPの高い壁を乗り越えるために

済生会新潟第二病院

吉水 敦・森 望美・伊佐早 悦子・車田 茂徳

前立腺肥大症に対する経尿道的内視鏡手術の一つであるHoLEPを修得するために何が必要なのか考察した。まず、自分の経尿道的内視鏡手術の技術やHoLEPを修得しなければならない必要性を分析する必要がある。十分な技術がなく修得する必然性もあまりないのであればHoLEPを開始することは勧められない。開始する場合は、まず完全に腺腫を核出した前立腺窩の形状を体で理解することとレーザーによる止血の技術を修得するため事前のトレーニングが必要となる。前立腺窩の形状を実際に理解するには、HoLEP実施病院でHoLEPの最後の止血を実際に経験することが現実的である。止血については、TUR-PやTUR-Btの止血時にレーザーを積極的に利用し止血の技術をより早く修得出来るよう努力すべきである。そうした基礎力を確立したうえで、合理的な術式を採用する必要がある。これから開始する方々には、現時点で我々が一番合理的なHoLEPの術式と考えている平岡・吉水式HoLEPをお勧めしたい。